

福祉産業建設委員会協議会 2月9日

こども家庭センターの
運用開始



開設したこども家庭センター

問 他課との連携はどのように行うか。
答 センターで聞き取り関係課へ繋ぐ。

問 専門職員確保の目的は立っているか。
答 広報で募集し、採用の目途は立った。

こども家庭センターは、全ての妊産婦、子育て世帯、子供に対し、母子保健・児童福祉の両機能が一体的に相談支援を行う機関。
運用開始
令和8年4月1日
設置場所
幸田町保健センター
2階



逆川広場イメージ

問 他の地区への広場整備を考えるのか。
答 町内で複数個所の整備を計画したい。(その他の項目を協議)

問 駐車場など考え、良い広場計画を。
答 広場を確保し、駐車場は近隣へ計画。

森林サービス産業で逆川広場を整備
森林空間が持つリラククス効果や免疫力向上効果など活用し、森林浴、ヨガなど健康イベントや、地元材バーベキューなど食を通し心身の健康づくりの場とする。

福祉産業建設委員会管内視察 2月12日

広田川・相見川合流部
多自然川づくりなど学ぶ

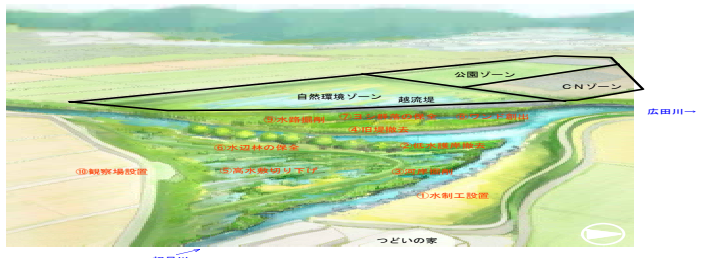
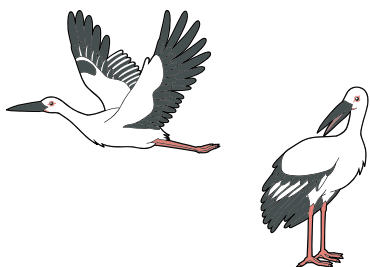


整備の説明を受ける

(その他3か所視察)
環境を未来につなげる。
再生した多様な生物が生息する良好な自然環境を未来につなげる。

● 広田川多自然川づくり検討会
令和6年度3回実施
・構成メンバー
有識者、愛知県、幸田町、コンサル
・目指す姿
河道整備をきっかけに、菱池として湿地を形成してきた歴史を踏まえ、湿性植生の保全再生した多様な生物が生息する良好な自然環境を未来につなげる。

菱池遊水地整備に伴う河道整備をきっかけに、合流部の6haもの広大な三角地の活用を考えることとなった。



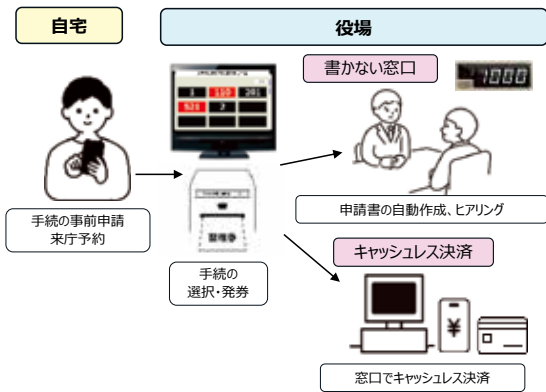
整備イメージ

D X 推進特別委員会協議会 2月16日

スマート窓口推進へ 書かない・待たない・まよわない



スマート窓口（書かない・待たない・迷わない窓口）推進事業



問 職員が働きやすいスペース確保が必ずでは。

答 発券機を設置し、窓口手続き状況を明確化する。

問 役場1階窓口の混雑解消方法は。

答 令和8年1月、国が定めた標準化システムを導入した。今後、行政手続きのオンライン化や書かない窓口など行政サービスのデジタル化を進める。

問 電子回覧板の導入目的は。

答 電子回覧板の導入目的は、平常時・災害時ともに情報の共有化ができる。

問 町営駐車場の料金支払いをキャッシュレスにできないか。

答 町営駐車場の料金支払いをキャッシュレスにできないか。検討している。

問 書かない窓口設置において、改修が必要と考えている。

※当初の目的を達成したため、3月25日をもって両特別委員会を廃止した。

第7次総合計画策定特別委員会協議会 2月16日

第7次総合計画最終案 示される



2月開催の総合計画審議会で、パブリックコメントを反映した案

未来につながる活力ある緑住文化都市

最終案については、本編と概要版で構成
・計画期間
2026年度から
2035年度の10年間
・まちづくりの理念
人と自然と産業の調和
・まちづくりの将来像
もっと輝く幸田を、みんなであつ
未来につながる活力ある緑住文化都市

最終案については、本編と概要版で構成
・計画期間
2026年度から
2035年度の10年間
・まちづくりの理念
人と自然と産業の調和
・まちづくりの将来像
もっと輝く幸田を、みんなであつ
未来につながる活力ある緑住文化都市

問 10年計画の進捗管理、見える化を。

答 実施計画の中で、進捗状況など示す。

問 計画で示したこと、特に人口減少に対する取り組み実施を。

答 人口対策は重要で住民が満足する各種施策に取り組む。